

多収で倒伏に強く混播適性に優れる
千モシー 採草用 中生品種

なつぴりか

☆☆☆ 北海道優良品種 道総研北見農業試験場育成 ☆☆☆

「なつぴりか」は、早晚性が“中生の早”で、採草利用で多収です。耐倒伏性が同熟期の「アッケシ」より強く、マメ科牧草との混播栽培に必要な競合力が「アッケシ」より優れています。これらのことから「なつぴりか」は栽培管理がしやすく、良質粗飼料の生産性向上に大きく貢献できる品種です。

栽培適地：北海道全域



1 番草の草姿

- 1 番草の出穂始が「アッケシ」と同日で、早晚性（熟期）は“中生の早”に属します（表1）。
- 乾物収量は、年次別、番草別のいずれでも「アッケシ」より多収です（表1）。
番草別ではとくに2番草が多収です。

表1. チモシー「なつぴりか」の早晚性（熟期）と収量性.

品種・系統	出穂始期 (月/日)	年次別の合計乾物収量 ¹⁾ (kg/a)					番草別乾物収量 ²⁾ (kg/a)	
		1年目	2年目	3年目	2カ年 合計	3カ年 合計	1番草	2番草
なつぴりか	6/21	27.4	119.8	90.8	210.7	238.0	76.0	29.4
アッケシ対比 ³⁾	±0	110	106	106	106	107	104	114

1) 道内5カ所（浜頓別、中標津、訓子府、新得、札幌）の平均値。2カ年合計は播種後2、3年目の合計。

3カ年合計は1-3年目の合計。

2) 道内5カ所・2カ年（播種後2、3年目）の平均値。

3) 出穂始期は「アッケシ」との差、収量は「アッケシ」を100としたときの指数（%）。



図1. 1番草における倒伏の発生状況。
多肥条件（春の追肥窒素量：1.3kg/a）。

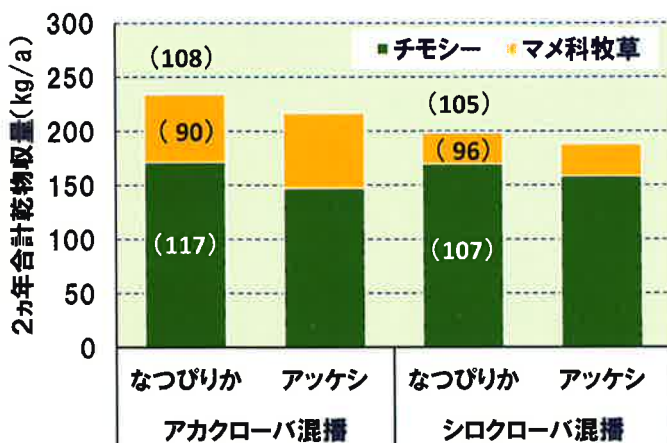


図2. マメ科牧草混播条件下における草種別乾物収量。

2カ年（2、3年目）の合計。（）内は「アッケシ」対比指数（%）。上から草種合計：マメ科牧草、チモシー。

- 耐倒伏性は、「アッケシ」より優れています（図1）。
- マメ科牧草との混播栽培条件下で、草種合計収量、チモシー収量がいずれも多く、混播適性が「アッケシ」より優れています（図2）。
- 斑点病抵抗性は、「アッケシ」（強～極強）と同程度に強いです（表2）。

表2. 斑点病罹病程度。

品種・系統	斑点病罹病程度（評点法）	
	圃場 ¹⁾ (自然発病)	幼苗 ²⁾ 人工接種
なつぴりか	2.7	1.89
アッケシ	2.5	1.97

1) 無または極微1～甚9。発生した全調査の平均。

2) 無0、微1～甚5。調査個体の平均。

＜栽培利用上の留意点＞

- ①年間2回の採草利用に適します。
- ②倒伏に強いです。適期刈りが基本です。

＜問い合わせ先（育成機関）＞

道総研・北見農業試験場
作物育種グループ（牧草）
TEL：0157-47-2633（直通）
FAX：0157-47-2774